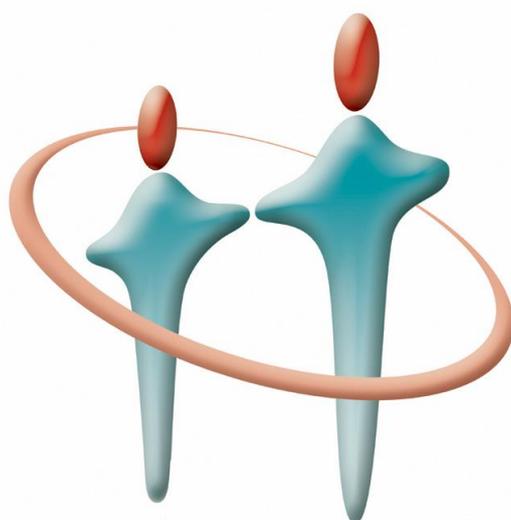


# 平成30年度事業報告/ 及び決算報告



JAPAN SOCIETY OF  
NINGEN DOCK

公益社団法人  
日本人間ドック学会

# 目次

## (事業報告)

I. 序章	1
1. 事業計画	1
2. 役員／社員／会員数等	4

## (公益目的事業)

II. 第59回 日本人間ドック学会学術大会	5
1. 開催概要	5
2. 学術大会主要プログラム	6

III. 学会誌等	11
1. 和文誌	11
2. 英文誌	11
3. ニュースレター	11

IV. 人間ドック認定医制度	12
1. 第21回人間ドック認定医認定	12
2. 第16回人間ドック認定医更新	12

V. 人間ドック健診専門医制度	12
1. 2018年度人間ドック健診専門医認定試験 認定者数	12
2. 人間ドック健診専門医制度 研修施設・指導医 認定・更新数	12

VI. 人間ドック健診施設機能評価	13
1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数	13
2. 第19回サーバイヤー研修会	13
3. 公式講習会	13

VII. 研修会・人材育成活動	14
1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	14
2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	15
3. 人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会	16

## (収益事業等)

VIII. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業	17
1. 健保連等への人間ドック実施施設指定	17
2. 特定健康診査・特定保健指導実施施設を保険者へ紹介(集合契約A)	17

IX. その他の事業(相互扶助等事業)	17
1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業	17

**(決算報告)** 平成 31 年 3 月 31 日 現在

1. 貸借対照表 .....	1
・ 貸借対照表内訳表 .....	2
2. 正味財産増減計算書 .....	3
・ 正味財産増減計算書内訳表 .....	4
・ 財務諸表に対する注記 .....	6
3. 財産目録 .....	7
・ 附属明細書 .....	8

# 事業報告

## <事業報告>

### I. 序章

#### 1. 事業計画

##### 1) 学術大会開催に関する事項

###### (1) 第59回日本人間ドック学会学術大会

開催期日：2018年8月30日（木）・31日（金）

会場：新潟県新潟市 新潟コンベンションセンター「朱鷺メッセ」

テーマ：人が『人らしく』生きるために-健康長寿に寄与できる人間ドックを目指して-

学術大会長：加藤 公則 新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座 教授

一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会

###### (2) 国際学会等に関する事項

①第59回日本人間ドック学会学術大会の中で「国際セッション」として開催

②IHEPA との国際人間ドック会議同時開催に向けての相互交流

③厚生労働省・経済産業省の日本医療の国際展開事業への協力

##### 2) 研修会等開催に関する事項

①人間ドック健診認定医・専門医研修会（年3回）

②人間ドック健診施設機能評価サーベイヤー研修会の開催（年1回）

③人間ドック健診施設機能評価公式講習会の開催（年2回）

④人間ドック健診施設機能評価 Ver4 説明会の開催（年1回）

⑤人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催（年2回）

⑥人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催（年5回）

##### 3) 人間ドック認定医/人間ドック健診専門医制度に関する事項

（本学会単独事業）

①人間ドック認定医の認定/更新

②旧人間ドック健診専門医の更新

（日本総合健診医学会との合同事業）

①人間ドック健診専門医試験の実施

②人間ドック健診専門医の認定/更新

③人間ドック健診指導医の（暫定）認定/更新

④人間ドック健診研修施設の（暫定）認定/更新

⑤その他

##### 4) 人間ドック健診施設機能評価に関する事項

①人間ドック健診施設機能評価の審査・認定

②サーベイヤーの教育・研修の企画立案

③認定施設の広告・広報活動（主に国民・地域住民向け）

④法定健診等に関わる新評価認定制度事業の実施

⑤保健指導実施健診施設の実態調査・評価制度の検討

⑥機能評価認定施設審査結果のデータ整理・統計分析

⑦全国労働衛生団体連合会との腹部超音波検査の精度管理事業の共同実施

##### 5) 人間ドック健診情報管理指導士に関する事項

①人間ドック健診情報管理指導士の認定

②人間ドック健診情報管理指導士の更新

## 6) 特定健診・特定保健指導に関する事項

- ①特定健診・特定保健指導施設のとりのまとめと保険者への紹介(集合契約A)
- ②特定健診・特定保健指導に関する情報収集
- ③健康保険組合連合会と特定保健指導モデル事業の共同実施

## 7) 健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

- ①人間ドック健診施設との一日ドック・二日ドックの指定契約
- ②その他

## 8) 広報活動に関する事項

- ①学会誌「人間ドック」VOL.33 NO.1～NO.5 発刊
- ②英文誌「Ningen Dock International」VOL. 6 NO.1～NO.2 発刊  
\* 英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1～2回とする
- ③電子化し、独立行政法人科学技術振興機構(JST)が構築したJ-STAGEに登載する
- ④日本人間ドック学会「会報」の発刊(年2回)
- ⑤学会活動状況及び機能評価認定施設情報等を積極的に公開

## 9) 委員会活動に関する事項

- ①基本問題検討委員会
- ②倫理・利益相反委員会
- ③財務委員会
- ④社員選任/役員選定委員会
- ⑤健保連人間ドック健診等の経営や契約に関する検討委員会(日病との合同)
- ⑥学術委員会
  - ・がん登録小委員会/喫煙対策小委員会/女性の人間ドック健診の在り方に関する小委員会/低線量CT肺がん検診推進小委員会
- ⑦リキッドバイオプシー委員会
- ⑧高齢受診者に対する人間ドック健診のあり方委員会
- ⑨人間ドック健診判定・指導マニュアル作成委員会
  - ・婦人科小委員会/乳房小委員会/腹部超音波小委員会/心電図小委員会/尿沈渣小委員会
- ⑩人間ドック・健診用語集作成委員会
- ⑪遺伝学的検査検討委員会
  - ・遺伝学的検査に関する教育プログラム作成のためのWG
- ⑫編集委員会
- ⑬国際委員会
- ⑭広報委員会
- ⑮人間ドック健診施設機能評価委員会
  - ・Ver.4および保健指導評価制度運営小委員会
  - ・健診実施病院支援事業検討小委員会
- ⑯特定健診/特定保健指導対策委員会
- ⑰人間ドック健診専門医制度委員会(日本総合健診医学会との合同委員会)
  - ・試験問題検討・作成(問題集改訂)小委員会/認定小委員会/研修会検討小委員会/施行規則細則改訂小委員会/研修プログラム・カリキュラム検討作成小委員会
- ⑱人間ドック健診認定医/専門医制度委員会(本学会単独)
- ⑲人間ドック健診の有用性に関する大規模調査研究委員会
- ⑳人間ドック健診実態調査委員会

その他必要とされる委員会は逐次開催する。

## 10) 統計・調査に関する事項

- ①2017年度（平成29年度）施設会員実態調査の実施
- ②がん症例調査(2015年度)の実施
- ③大規模研究調査(2017年度人間ドック機能評価認定施設よりの電子データ)
- ④学術委託研究に関わる研究費の会員に対する公募
- ⑤その他
  - ・厚労省等研究事業等に積極的に参画

## 11) その他

- ①日本医学会への加盟への働き掛け
- ②日本医学健康管理評価協議会との連携
- ③日本総合健診医学会との相互交流・意見交換会（理事長・副理事長懇談会の開催等）
- ④一般社団法人日本専門医機構への参画
- ⑤国際モダンホスピタルショー等への参画
- ⑥NPO 法人日本人間ドック健診協会との相互協力
- ⑦人間ドック結果判定区分の統一化
- ⑧人間ドック学の世界へのプロパガンダ

## 2. 役員／社員／会員数等

①役員数等	理事長	1名
	副理事長	3名
	理事	26名
	監事	3名
	(名誉理事長)	1名
	(名誉会員)	30名

②社員数 197名(内役員は32名)

③正会員 / 施設会員 / 賛助会員数 (平成31年3月31日現在)

A会員 (医師)	5,825名
B会員 (医師以外)	427名
C会員 (施設 (医療機関))	1,698施設
S会員 (企業など)	32団体

④その他

・人間ドック認定医・専門医数及び指導医、研修施設数 (平成31年3月31日現在)

認定医交付人数	5,564名
専門医交付人数	1,762名
研修施設数 (累積認定)	324施設
指導医数 (累積認定)	942名
暫定研修施設 (指導医) 数	97施設 (91名)

・人間ドック健診情報管理指導士累積人数	7,197名 (平成31年3月31日現在)
・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	938名 (平成31年3月31日現在)
・人間ドック健診施設機能評価累積認定数	425施設 (平成31年3月31日現在)

・一日ドック／二日ドック指定数 (平成31年3月31日現在)

一日ドック	139施設
二日ドック	6施設
一日ドック・二日ドック両方	343施設

## (公益目的事業)

### II. 第 59 回 日本人間ドック学会学術大会

#### 1. 開催概要

- 1.開催日程 平成 30 年 8 月 30 日 (木)・31 日 (金)  
2.開催会場 朱鷺メッセ  
3.学術大会長 加藤 公則 (新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座 教授  
／一般社団法人新潟県労働衛生医学協会)

- 4.テーマ 「人が『人らしく』生きるために  
—健康長寿に寄与できる人間ドックを目指して—」

- 5.開催内容
- |                   |       |
|-------------------|-------|
| 学術大会長講演           | 1 題   |
| 特別講演              | 2 題   |
| 教育講演              | 5 題   |
| シンポジウム            | 4 題   |
| 特別企画              | 5 題   |
| 日本人間ドック学会 理事長講演   | 1 題   |
| 国際セッション (口頭発表)    | 9 題   |
| 会員集会              | 1 題   |
| 一般演題※ (申込数 : 488) | 479 題 |
| 計                 | 507 題 |

\*口頭発表 384 題、ポスター発表 : 86 題

- |           |                |
|-----------|----------------|
| ランチョンセミナー | 22 題           |
| 企業・書籍     | 106 ブース (87 社) |

- 6.参加実人数 4,616 名 (内 3,907 名/有料)
- ・事前登録参加者 2,598 名  
(医師 1,554 名 その他 1,044 名)
  - ・当日参加者 1,309 名  
(医師 772 名 その他 537 名)
  - ・招待者 120 名
  - ・ランチョンセミナー共催企業 (22 社) 154 名
  - ・展示企業 (87 社) 435 名

- 7.市民公開講座 「乳がんの事をもっと知りましょう」

主催 : 第 59 回日本人間ドック学会学術大会/NPO 法人日本人間ドック健診協会

参加者人数 600 名 以上

## 2. 学術大会主要プログラム

### 第1日目 8月30日(木)

#### 第1会場(2F メインホール)

##### ■ 開会式 8:30 ~ 9:00

##### ■ 学術大会長講演 9:00 ~ 9:30

「人が『人らしく』生きるために—健康長寿に寄与できる人間ドックを目指して—」

座長：井上 和彦（一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター センター長）

演者：加藤 公則（新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座 教授／  
一般社団法人新潟県労働衛生医学協会）

##### ■ 理事長講演 9:30~10:00

「岐路に立つ人間ドック健診—人間ドック学会はどう対応するか—」

座長：加藤 公則

演者：篠原 幸人（公益社団法人日本人間ドック学会 理事長／東海大学名誉教授／  
国家公務員共済組合連合会立川病院 名誉院長）

##### ■ 特別講演1 10:00 ~ 11:00

「人間ドックのビッグデータが教える健康長寿エビデンス」

座長：宮下 正弘（社会福祉法人賛成福社会 介護老人保健施設 山盛苑 施設長）

演者：曾根 博仁（新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学教授）

##### ■ シンポジウム1 11:00 ~ 12:30

「特定保健指導の新たな展開—より効果的な保健指導を目指して—」

座長：津下 一代（あいち健康の森健康科学総合センター センター長）

中村 正和（公益社団法人地域医療振興協会/ヘルスプロモーション研究センター センター長）

演者：「特定保健指導 10年間の総括とあらたな展開」

加藤 典子（厚生労働省健康局健康課 保健指導室長）

「地域資源を活用した新たな保健指導」

高橋ちぐみ（山形県上山市役所 市政戦略課 クアオルト推進室）

「2型糖尿病におけるIoT 活用の行動変容を介する血糖改善効果の検証：

多施設共同無作為化非盲群間比較試験（PRISM-J）」

坊内良太郎（国立国際医療研究センター 糖尿病内分泌代謝科/

糖尿病情報センター臨床情報研究室長）

「特定保健指導における禁煙指導：効果的な実施方法と実際」

金沢 裕一（淀さんせん会 金井病院ヘルスプロモーションセンター）

「特定保健指導における減酒指導：効果的な実施方法と実際」

真栄里 仁（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 教育情報部長）

##### ■ シンポジウム2 14:00 ~ 15:30

「女性の家族性がん」

座長：佐々木 寛（医療法人沖繩徳洲会千葉徳洲会病院 婦人科 部長／  
東京慈恵医科 大学 客員教授）

児玉 省二（新潟南病院 産婦人科 部長）

演者：Lynch 症候群について

①子宮体がんについて

児玉 省二

② Lynch 症候群における大腸がんについて

石川 秀樹（京都府立医科大学 分子標的癌予防医学 大阪研究室）

遺伝性腫瘍－卵巣がんを中心に－

青木 大輔（慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 教授）  
ハイリスク女性に対する乳房MRI サーベイランスの現状と課題  
戸崎 光宏（相良病院附属ブレストセンター放射線科部長）  
新潟県におけるHBOC 診療体制の確立に向けての取り組み  
西野 幸治（新潟大学大学院家族性・遺伝性腫瘍学講座 準教授）

■ 特別講演2 15:30～16:30

「健康寿命延伸と医療政策をとりまく今日的課題」

座長：伊藤千賀子（医療法人グランドタワーメディカルコート 理事長）  
演者：自見はなこ（参議院議員）

■ おもてなし企画 17:45～18:15

「太鼓芸能集団 鼓童」 公演

第2 会場（2F 中会議室201）

■ 教育講演1 14:00～15:00

「健診が楽しくなる脂質異常症の基本と応用」

座長：和田 高士（東京慈恵会医科大学 大学院医学研究科健康科学 教授）  
演者：横手幸太郎（千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学講座 教授）

■ 教育講演2 15:00～16:00

「人間ドック・健診における運動・身体活動のすすめ方」

座長：杉森 裕樹（大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科 学科長）  
演者：勝川 史憲（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 教授）

■ 特別企画1 11:00～12:30

「人間ドック健診施設機能評価事業を取り巻く環境の変化と今後の在り方」

座長：野村 幸史（人間ドック健診施設機能評価委員会 委員長）  
演者：1. 「人間ドック健診施設機能評価事業が目指してきたこと」  
野村 幸史  
2. 「評価基準Ver.3.0 の審査総括」  
那須 繁（人間ドック健診施設機能評価委員会副委員長）  
3. 「Ver.4.0 が目指すもの」  
石坂 裕子（人間ドック健診施設機能評価委員会副委員長・  
Ver.4.0 作成検討小委員会委員長）  
4. 「保険者が求める健診機関とは」  
小松原祐介（健康保険組合連合会保健部 保健部長）

■ 特別企画2 15:45～17:45

「第5 回健診看護実務者研究会」

テーマ：あなたも明日から指導のプロ!! 「人を観てデータを読み解こう」  
※主催：NPO 法人日本人間ドック健診協会

第11 会場（1F 展示ホールB 特設会場2）

■ 特別企画5 15:30～16:30

「超音波検査ライブセミナー 血管エコーの人間ドックへの応用」

演者：榛沢 和彦（新潟大学先進血管病・塞栓治療予防講座 特任教授）

## 第2 日目 (8 月31 日 (金))

### 第1 会場 (2F メインホール)

#### ■ シンポジウム3 8:30 ~ 10:30

「がん検診最新の動向と課題～これからのがん検診のあり方を考える!～」

座長: 三原 修一 (みはらライフケアクリニック 院長)

演者: 「人間ドックにおけるがん登録の現状と課題」

三原 修一

「胃がんリスク層別化 (ABC 分類) をふまえた内視鏡検診のあり方」

井上 和彦

「CT コロノグラフィーによる大腸がん検診の現状と課題」

飯沼 元 (国立がん研究センター中央病院 放射線診断部 医長)

「上部消化管内視鏡検診」

成澤林太郎 (新潟県立がんセンター がん予防総合センター長)

「大腸癌検診におけるカプセル内視鏡の可能性」

大塚 和朗 (東京医科歯科大学 医学部附属病院 光学医療診療部 教授)

#### ■ シンポジウム4 10:30 ~ 12:30

「人間ドック健診の新しい展開」

座長: 岡田 邦夫 (特定非営利活動法人健康経営研究会 理事長)

古井 祐司 (東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授 /

自治医科大学 客員教授)

演者: 「少子高齢社会で活躍が期待される健診機関」

古井 祐司

「健診Project8 からNext10 へー地域との連携に踏み出す健診機関ー」

大塚 政人 (新潟県労働衛生医学協会 常務理事)

「足利長寿研究で取り組む近未来の健康診断ーアミノインデックス技術の臨床応用ー」

山門 實 (足利工業大学 看護学部長)

「職域の健康を守るこれからの人間ドック健診機関の役割」

高谷 典秀 (医療法人社団同友会 理事長)

「トッパングループの健診とこれからの保険者の役割」

梅木 稔 (トッパングループ健康保険組合 ヘルスケアチーム課長)

「働き方の変革と経営者の健康診断実施義務のあり方ー人間ドック機関の役割」

岡田 邦夫

#### ■ 市民公開講座 14:00~16:00

「乳がんのことをもっと知りましょう」

第一部「乳がん死亡の減少に向けての第一歩」

演者: 佐藤 信昭 (新潟県立がんセンター新潟病院 院長)

第二部 フリーディスカッション

スペシャルゲスト: 山田 邦子さん

パネリスト: 佐藤 信昭

MC: 伊勢 みずほ (フリーアナウンサー)

第7 回「受けてよかった人間ドック」体験記コンクール表彰式

(1) 3賞受賞者紹介・賞品授与

(2) 最優秀賞作品朗読

(3) 記念撮影

### 第2 会場 (2F 中会議室201)

#### ■ 教育講演3 8:30 ~ 9:30

「人間ドック・健診で使える心電図のknow-how」

座長：石坂 裕子

演者：池主 雅臣（新潟大学医学部保健学科 教授）

■ 教育講演4 9:30 ~ 10:30

「レセプト・特定健診等情報データベースの活用について」

座長：武藤 繁貴（聖隷健康診断センター 所長）

演者：廣瀬 佳恵（厚生労働省 保険局医療介護連携政策課  
保険システム高度化推進室室長）

■ 教育講演5 10:30 ~ 11:30

「老化制御研究からみた健康寿命延伸の展望」

座長：福井 敏樹（医療法人社団如水会

オリーブ高松メディカルクリニック予防医療センタ 院長）

演者：南野 徹（新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学 教授）

第9 会場（4F 国際会議室）

■ 特別企画3 8:30 ~ 10:30

「超音波検査ライブセミナー 腹部」

腹部超音波検査肝臓・腎臓の描出のpoint

演者：小川 眞広（日本大学病院 超音波検査室室長）

「膵胆道領域の超音波解剖と描出法を極める」

岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科部長・内視鏡センター長）

■ 特別企画4 10:30 ~ 11:30

「子宮頸がん検診ー細胞採取の実際ー」

座長：佐々木 寛

演者：小田 瑞恵（医療法人社団 こころとからだの元気プラザ 婦人科 診療部長）

■ 日本人間ドック学会会員集会 14:00 ~ 16:00

・2018 年度 事業計画・収支予算 報告

報告：篠原 幸人（日本人間ドック学会 理事長）

那須 繁（日本人間ドック学会 財務担当理事）

・第60 回日本人間ドック学会学術大会について

報告：学術大会長：井上和彦

・各種委員会報告

①『学術委員会 がん登録小委員会2013 年調査報告』

報告：三原 修一（学術委員会 がん登録小委員会 委員長）

②『学術委員会 喫煙対策小委員会 施設アンケート最終報告と喫煙に関する標準問診の改訂』

報告：中村 正和（学術委員会 喫煙対策小委員会 委員長）

③『生活習慣の是正はCKDの進展を抑制できるか？』

報告：津下 一代（人間ドック健診の有用性に関する大規模研究委員会

アドバイザーボード）

④『わが国における出生年別にみたHCVおよびHBV感染保有率の推計』

報告：井上真奈美（人間ドック健診の有用性に関する大規模研究委員会委員）

⑤『人間ドックデータから算出したC・D判定率と職域定期健康診断の有所見率との比較』

報告：和田 高士（人間ドック健診の有用性に関する大規模研究委員会

副委員長）

・表彰式

人間ドック健診施設機能評価優秀賞

2017 年度 学会誌優秀論文賞

■ 国際セッション 第7 会場 (3F 小会議室303+304) 15:00 ~ 16:30

座長：鏑木 淳一 (医療法人社団三友会 あげぼの病院理事 健診部部长)

IS-01 Ningen Dock as a standard model for prevention of Non Communicable Diseases in Bangladesh

- Aleemuzzaman Sheikh Noriko Kinukawa (Department of Pathology, Nihon University School of Medicine)  
A.H.M Enayet Hussain Khaleda Islam Abdul Alim (Directorate General of Health Services, Ministry of Health and Family Welfare, Bangladesh)  
Maleka Parveen (Medicare Japan Diagnostic Center, Gazipur, Bangladesh)  
Noriharu Katakura Aziz Sheikh (Healthcare Company, Konica Minolta Inc., Japan)  
Eriya Kitano Shuzo Yamamoto (Medical Excellence JAPAN, Japan)

IS-02 Psychiatric stress can be associated with hypertension

- Junichi Kaburaki (Preventive Health Care Center Akebono Hospital, Japan)  
Takao Matsuki (Shin-akasaka Clinic, Japan)

IS-03 Retrospective study of relationship between hyperuricemia and dyslipidemia in check-up participants and outpatients.

- Hiroko Shigemi (Respiratory Medicine University of Fukui Hospital, Japan)  
Michiko Imagawa Tadashi Konoshita Tamotsu Ishizuka (University of Fukui Hospital, Japan)

IS-04 Hemoglobin Affects Pulse Wave Velocity Significantly and Independently of Blood Pressure but Does not Affect Carotid Intima Media Thickness

- Kazuo Murakami (Department of Health Care and Preventive Medicine Matsuyama Red Cross Hospital, Japan)

IS-05 Uric acid, ferritin, and  $\gamma$ -glutamyltransferase can be informative in prediction of the oxidative stress

- Yasuhiro NISHIZAKI1 Kanae ODA1 Emiko KIKUCHI1 Tamae OGATA1 Chizumi YAMADA Noriaki KISHIMOTO1 Akira KUBO (Health Screening Center, Tokai University Tokyo Hospital, Japan)  
Nana URATA (Department of Clinical Health Science, Tokai University School of Medicine, Japan)  
Naoaki ISHII (Department of Health Management, School of Health Science, Tokai University, Japan)

IS-06 Smoking regulations in Japan from an international perspective

- René A. du Cloo Yuri Okabe (Roppopngi Avenue Clinic, Japan)

IS-07 Why sleep matters—health effects of sleep deprivation

- Yuri Okabe René du Cloo (Roppopngi Avenue Clinic, Japan)

IS-08 Evaluation of a multi-GTA blood test for measuring colorectal cancer associated GTAs in an average risk Japanese population

- Dayan Goodenowe1 Vijitha Senanayake1 Yasuyo Yamazaki (Prodrome Sciences Inc, Japan)  
Mamoru Satoh Fumio Nomura (Division of Clinical Mass Spectrometry, Chiba, Japan)

IS-09 Factors influencing the choice of Physical Examination Institution in Taiwan

- Chia Chia Lin Chin Fu Kuo  
(Preventive Medicine Center, Taichung Tzuchi Hospital, Taiwan)

■ 閉会式 16:00 ~ 16:30

プレナリーセッション最優秀口頭・ポスター (学術大会長賞) 表彰式

### Ⅲ. 学会誌等

①和文誌「人間ドック」 (年 5 回)

VOL. 33 NO. 1 2018. 6 (原著論文・学会大会)

VOL. 33 NO. 2 2018. 8 (学会大会プログラム・抄録集)

VOL. 33 NO. 3 2018. 9 (原著論文集)

VOL. 33 NO. 4 2018. 12 (原著論文・学会大会開催案内集)

VOL. 33 NO. 5 2019. 3 (原著論文/学会大会開催案内第 2 弾)

②英文誌「Ningen Dock International」(年 1 回)

VOL. 6 NO. 1 2019. 3 (原著英文誌)

③日本人間ドック学会ニュースレター

VOL. 1 VOL. 2

## IV. 人間ドック認定医制度

### 1. 第20回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、平成30年4月1日以降の認定者数は163名であり、認定医交付総数として5,564名となった。

### 2. 第15回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度（更新）は、平成30年4月1日以降の更新者数は273名であり、更新者総数は4,020名である。

## V. 人間ドック健診専門医制度

平成23年度より名称を『人間ドック健診専門医』と変更し、平成24年度より日本総合健診医学との合同事業となった。2018年度人間ドック健診専門医認定試験を両学会合同にて実施し、当日受験者数144名（日本人間ドック学会106名、日本総合健診医学会38名）、受験合格者数は141名、旧制度からの更新者は無しだったため、2018年度人間ドック健診専門医認定者は141名であった。人間ドック健診専門医認定者には、両学会認定の専門医認定証を交付し、更新までの5年間に50単位（両学会企画30単位以上・両学会以外の企画上限20単位）を取得することとなる。

また、専門医受験者数を増やす目的で、大学病院等も含め暫定指導医・暫定研修施設の委嘱を行った。

### 1. 2018年度人間ドック健診専門医認定試験（日本総合健診医学会との合同7回目）

日時：2018年10月21日（日） 13:00～15:00（受付11:30～）

会場：品川フロントビル 地下1階会議室（東京都港区港南2-3-13）

受験対象者：受験資格該当者（研修施設での満3年以上の研修歴がある者）

試験内容：試験問題集および追加問題含め 計100問出題

100分間 マークシート方式による筆記試験

#### ◆2018年度人間ドック健診専門医 認定者数（※2018年度更新者数：137名）

日本人間ドック学会 2018年度専門医認定者数：105名、

（日本総合健診医学会：36名 2018年度認定者数 両学会合計141名）

認定期間は、2019年4月1日～2024年3月31日 5年間とする。

【人間ドック健診専門医認定者数（ドック学会累計）：1,762名】

### 2. 2018年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

新制度条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

日本人間ドック学会 新規認定指導医：10名 新規認定研修施設：7施設

（日本総合健診医学会： 新規認定指導医：3名、新規認定研修施設：1施設）

【人間ドック健診指導医 認定者数（ドック学会 累計）：942名 ※更新指導医：227名】

【人間ドック健診研修施設 認定数（ドック学会 累計）：324施設 ※更新研修施設：149施設】

※暫定指導医・暫定研修施設として、新たに大学病院等を委嘱（5年間）した。

日本人間ドック学会 暫定研修施設：97施設（暫定指導医：91名）

（日本総合健診医学会： 暫定研修施設：64施設（暫定指導医：63名））

委嘱認定期間は、2019年4月1日～2024年3月31日 5年間をもって委嘱終了とする。

## VI. 人間ドック健診施設機能評価

2019年3月末現在、559施設から受審申請がある。認定施設の累計は425施設である。

(うち3回更新済み8施設、2回更新済み176施設、1回更新済み89施設、更新辞退44施設)  
認定施設の分布状況は、45都道府県に認定施設がある。

【認定施設の分布 \*2019年3月末現在。更新辞退施設を除く】

北海道	13	東京都	63	滋賀県	3	香川県	4
青森県	3	神奈川県	22	京都府	12	愛媛県	4
岩手県	4	新潟県	5	大阪府	25	高知県	3
宮城県	9	富山県	2	兵庫県	13	福岡県	12
秋田県	5	石川県	4	奈良県	4	佐賀県	2
山形県	3	福井県	2	和歌山県	1	長崎県	3
福島県	2	山梨県	1	鳥取県	0	熊本県	4
茨城県	3	長野県	14	島根県	2	大分県	4
栃木県	8	岐阜県	7	岡山県	10	宮崎県	0
群馬県	7	静岡県	9	広島県	13	鹿児島県	4
埼玉県	13	愛知県	25	山口県	3	沖縄県	5
千葉県	15	三重県	8	徳島県	1	海外(台湾)	2

### ●サーベイヤー研修会

サーベイヤーのスキルアップおよび最新の評価基準の解釈周知等を目的に例年開催している。

<第19回サーベイヤー研修会>

- 1.日 時：2018年8月29日(水) 13:00～17:00
- 2.会 場：ANAクラウンプラザホテル新潟3階 「飛翔(西)」(新潟市)
- 3.参加者：サーベイヤー111名(医師40名、事務56名、看護職15名)

### ●公式講習会(Ver.4.0)

受審(希望)施設を対象に講習会を開催した。(第1回は2017年度に開催)

<第2回>

- 1.日 時：2018年5月10日(木) 12:30～16:30
- 2.会 場：ホスピタルプラザビル 2階会議室(東京都千代田区)
- 3.参加者数：48施設(105名)

<第3回>

- 1.日 時：2018年10月26日(金) 12:30～16:30
- 2.会 場：主婦会館 7階 カトリア(東京都千代田区)
- 3.参加者数：77施設(180名)

<第4回>

- 1.日 時：2018年11月8日(木) 12:30～16:30

2.会 場：ホスピタルプラザビル 2階会議室（東京都千代田区）

3.参加者数：39 施設（94名）

●機能評価 Ver.4.0 解説および受審対策セミナー

2015～2017年に指定継続のための訪問調査（実査）を受審した施設を対象に、機能評価認定への移行を支援する目的でセミナーを開催した。

<第1回>

1.日 時：2019年1月31日（木）13：30～16：30

2.会 場：主婦会館 3階 コスモス（東京都千代田区）

3.参加者数：52 施設（81名）

<第2回>

1.日 時：2019年2月14日（木）13：30～16：30

2.会 場：ホスピタルプラザビル 3階会議室（東京都千代田区）

3.参加者数：21 施設（27名）

●国際モダンホスピタルショー 2018 ホスピタルショウカンファレンス

日 時：2018年7月13日（木）13：00～14：30

会 場：東京ビッグサイト 会議棟6階（東京都江東区）

参加者数：157名

講 演：「健診を取り巻く環境の変化と人間ドック」

日本人間ドック学会理事長 篠原幸人

日本人間ドック学会理事/人間ドック健診施設機能評価委員会委員長

野村幸史

## VII. 研修会・人材育成活動

### 1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

●第49回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：2018年9月1日（土） 9：20～12：45

会 場：新潟 朱鷺メッセ 882名

開会挨拶

「人間ドック健診における低線量CT検診の重要性」

「人間ドックにおける眼科的所見」

「臨床研究法について」

●第50回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：2018年10月14日（日） 12：30～15：45

会 場：神戸国際会議場 552名

「人間ドック・プライマリケアにおける膠原病・リウマチ性疾患の診療のポイント」

「人生100年時代に向けての骨の健康と骨検診のあり方」

「糖尿病臨床におけるトピックス」

●第51回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：2019年3月3日（日） 12：20～15：45

会 場：ヒューリックホール東京 758名

開会挨拶

「守りの美学 ～医療安全と医療倫理に必要な知識」

「胃 X 線検診について」

「膵臓がんについて」

## 2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

●人間ドック健診情報管理指導士 研修会

(対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	日 程	会 場	認定者	内 訳
第 31 回	2018年6月1日(金)～2日(土)	品川フロントビル(東京)	233名	医師：40名 保健師：142名 管理栄養士：51名 (他修了者：28名)
第 32 回	2019年1月25日(金)～26日(土)	ベルサール神保町アネックス(東京)	240名	医師：45名 保健師：148名 管理栄養士：47名 (他修了者：22名)

### 【2018年度 プログラム】

『人間ドック健診情報管理指導士の現状』

『特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み』

『生活習慣病やメタボリックシンドロームに関する知識』

エネルギー収支を改善するための保健指導

『食生活に関する保健指導の実際』

『身体活動に関する保健指導の実際』

『特定健診・特定保健指導における保険者との連携』

『行動変容に関する理論と実践』

『喫煙・飲酒習慣者への保健指導』

『特定保健指導で役立つ口腔保健の知識』

『人間ドック健診におけるがん検診-その現状と展望』

演習：保健指導方法の研究

『初回面接のビデオ学習による演習』

『初回面接の記録について』

『継続支援の電子メール（ビデオ対象者に対する継続支援）』

『全体のまとめ（質疑応答）/自己学習に向けた情報提供』

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会  
 (対象：医師・保健師・管理栄養士・食生活改善指導士)

回	日程	会場	参加者数	内 訳
第 49 回	2018 年 6 月 30 日 (土)	秋葉原 UDX GALLERY (東京)	<u>214</u> 名	医師：75名 保健師：93名 管理栄養士：43名 看護師等：3名
第 50 回	2018 年 9 月 9 日 (日)	AP 浜松町 (東京)	<u>201</u> 名	医師：69名 保健師：83名 管理栄養士：45名 看護師等：4名
第 51 回	2018 年 10 月 27 日 (土)	大阪アカデミア (大阪)	<u>207</u> 名	医師：52名 保健師：98名 管理栄養士：56名 看護師等：1名
第 52 回	2018 年 11 月 17 日 (土)	ベルサール神保町アネックス (東京)	<u>157</u> 名	医師：45名 保健師：86名 管理栄養士：22名 看護師等：4名
第 53 回	2019 年 2 月 17 日 (日)	大崎ブライトコアホール (東京)	<u>303</u> 名	医師：90名 保健師：141名 管理栄養士：68名 看護師等：4名

【2018 年度 プログラム】

『第 3 期の特定保健指導と国・保険者の動向』

『専門家でもなくてもできるお酒の減らし方』

『禁煙成功率を高める禁煙支援のポイント』

『実践したくなる！身体活動・運動の指導ポイント』

『事例検討』（演習テーマ：困難事例の検討）

（事例提供）

- ・ワーク 1 対象者の病態把握／生活習慣の課題について
- ・ワーク 2 対象者への支援方法について  
 (事例における食生活指導／運動指導のポイント講義)  
 (事例における専門家からのポイント講義)

## (収益事業等)

### Ⅷ. 人間ドック健診施設の他団体等への紹介や指定等に関する事業

#### 1. 健保連等への人間ドック実施施設指定

2019年3月末現在の指定施設は、一日ドックのみ139施設、二日ドックのみ6施設、一日ドック・二日ドック両方343施設である。

なお、旧制度の二日ドック指定施設は、現制度（機能評価認定）に移行するまでの暫定措置として、実査（実態調査）の受審を条件に2017年度から2019年度までは指定を継続する。

#### 2. 特定健康診査・特定保健指導実施施設を保険者へ紹介(集合契約A)

2019年3月末現在の集合契約委託参加施設は1,651施設である。またこの集合契約を利用する保険者団体は健康保険組合連合会、全国健康保険協会、共済組合連盟、地方公務員共済組合協議会、日本私立学校振興・共済事業団等13団体となっている。

### Ⅸ. その他の事業(相互扶助等事業)

#### 1. 予防医療及び人間ドック学の発展に資する研究等を支援する事業

2018年度の新規事業として、本法人が更なる人間ドックの有用性に関するエビデンス作りを目指す考えから、若干件数の学術委託研究を会員より公募する事とした。

公募期間は2018年6月～9月末までとし13研究の応募があった事から、選定委員を組織し、5段階評価による採点を行った結果、7研究を採択し、通知を行った。

当該採択された研究は、今後学術大会にて中間報告・論文発表等を行い、公表していく。

- |  |       |
|--|-------|
| 1) 尿中Na/K比を用いた新しい原発性アルドステロン症スクリーニング法の開発                              | 梶田 出  |
| 2) フラッシュグルコースモニタリングシステムを用いた、新しい糖尿病負荷検査法及びドック後の効果的なフォローアップの可能性についての研究 | 宮脇 尚志 |
| 3) 上腕足首間脈波伝播速度 (baPWV) の経年変化および脳・心血管病変発症等の予後との関連についての検討              | 福井 敏樹 |
| 4) 任意型人間ドックの価値評価－医療経済的な視点を考慮して－                                      | 杉森 裕樹 |
| 5) 心臓における拡張機能障害の病態解明と新たな診断法の開発応用                                     | 正木 充  |
| 6) 新規インスリン抵抗性指標の妥当性と動脈硬化への影響についての検討                                  | 中込 敦士 |
| 7) 緑内障診断の限界を克服する人間ドックにおける科学的根拠に基づいた眼科系検査の確立                          | 寺内 稜  |

# 決算報告

平成 31 年 3 月 31 日 現在

## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	236,950,796	217,175,163	19,775,633
未収金	2,224,605	0	2,224,605
前払金	8,184,747	8,735,547	550,800
流動資産合計	247,360,148	225,910,710	21,449,438
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
建物	1,561,203	1,129,121	432,082
什器備品	737,385	1,103,498	366,113
ソフトウェア	51,840	195,120	143,280
その他固定資産合計	2,350,428	2,427,739	77,311
固定資産合計	2,350,428	2,427,739	77,311
資産合計	249,710,576	228,338,449	21,372,127
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,083,764	3,514,135	2,430,371
未払消費税等	2,752,100	2,238,500	513,600
前受金	9,046,000	11,160,000	2,114,000
預り金	976,207	973,895	2,312
仮受金	0	30,000	30,000
賞与引当金	4,070,316	0	4,070,316
流動負債合計	17,928,387	17,916,530	11,857
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,037,740	0	5,037,740
固定負債合計	5,037,740	0	5,037,740
負債合計	22,966,127	17,916,530	5,049,597
正味財産の部			
1. 基金			
基金	71,084,813	71,084,813	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 指定正味財産			
受取寄付金			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	155,659,636	139,337,106	16,322,530
一般正味財産合計	155,659,636	139,337,106	16,322,530
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	226,744,449	210,421,919	16,322,530
負債及び正味財産合計	249,710,576	228,338,449	21,372,127

## 貸借対照表内訳表

平成31年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	3,592,659	0	233,358,137	0	236,950,796
未収金	0	2,224,605	0	0	2,224,605
前払金	3,129,984	20,536	5,034,227	0	8,184,747
流動資産合計	6,722,643	2,245,141	238,392,364	0	247,360,148
2. 固定資産					
(1) その他固定資産					
建物	1,366,053	97,575	97,575	0	1,561,203
什器備品	0	0	737,385	0	737,385
ソフトウェア	51,840	0	0	0	51,840
長期預け金	0	0	35,639,982	35,639,982	0
その他固定資産合計	1,417,893	97,575	36,474,942	35,639,982	2,350,428
固定資産合計	1,417,893	97,575	36,474,942	35,639,982	2,350,428
資産合計	8,140,536	2,342,716	274,867,306	35,639,982	249,710,576
負債の部					
1. 流動負債					
未払金	792,456	10,604	280,704	0	1,083,764
未払消費税等	2,434,488	317,612	0	0	2,752,100
前受金	9,046,000	0	0	0	9,046,000
預り金	857,414	31,369	87,424	0	976,207
賞与引当金	3,708,510	135,677	226,129	0	4,070,316
流動負債合計	16,838,868	495,262	594,257	0	17,928,387
2. 固定負債					
退職給付引当金	4,589,941	167,925	279,874	0	5,037,740
長期預り金	35,542,407	97,575	0	35,639,982	0
固定負債合計	40,132,348	265,500	279,874	35,639,982	5,037,740
負債合計	56,971,216	760,762	874,131	35,639,982	22,966,127
正味財産の部					
1. 基金					
基金	35,542,406	0	35,542,407	0	71,084,813
(うち特定資産への充当額)					
2. 指定正味財産					
受取寄付金	0	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)					
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	84,373,086	1,581,954	238,450,768	0	155,659,636
一般正味財産合計	84,373,086	1,581,954	238,450,768	0	155,659,636
(うち特定資産への充当額)					
正味財産合計	48,830,680	1,581,954	273,993,175	0	226,744,449
負債及び正味財産合計	8,140,536	2,342,716	274,867,306	35,639,982	249,710,576

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	110,309,000	108,425,000	1,884,000
正会員受取会費	59,009,000	57,395,000	1,614,000
施設会員受取会費	50,370,000	50,130,000	240,000
賛助会員受取会費	930,000	900,000	30,000
事業収益	199,955,500	198,573,568	1,381,932
学術大会参加収益	45,042,000	54,765,000	9,723,000
学術大会展示出店料収益	23,044,000	21,734,568	1,309,432
学術大会共催セミナー収益	12,670,000	12,204,000	466,000
認定医・専門医研修会事業収益	21,920,000	25,110,000	3,190,000
専門医試験・認定事業収益	6,044,000	2,734,000	3,310,000
認定医認定・更新事業収益	7,620,000	6,520,000	1,100,000
情報管理指導士研修認定事業収益	40,453,000	30,046,000	10,407,000
機能評価審査・認定事業収益	21,550,000	25,300,000	3,750,000
指定事業収益	19,660,000	19,230,000	430,000
雑誌販売事業収益	1,952,500	930,000	1,022,500
受取補助金等	9,000,000	0	9,000,000
受取補助金	9,000,000	0	9,000,000
受取寄付金	2,714,600	4,855,000	2,140,400
受取寄付金	2,714,600	4,855,000	2,140,400
雑収益	10,917,930	13,027,895	2,109,965
受取利息	4,127	2,335	1,792
広告掲載料収益	3,644,000	4,559,080	915,080
雑収益	7,269,803	8,466,480	1,196,677
経常収益計	332,897,030	324,881,463	8,015,567
(2) 経常費用			
事業費	282,803,416	285,458,057	2,654,641
給料手当	49,330,978	47,744,050	1,586,928
法定福利費	7,395,553	7,228,318	167,235
退職給付費用	2,363,859	1,977,630	386,229
旅費交通費	18,823,273	18,677,880	145,393
通信運搬費	10,104,976	10,808,283	703,307
減価償却費	295,375	328,706	33,331
消耗品費	8,350,972	3,289,475	5,061,497
印刷製本費	41,751,140	36,402,693	5,348,447
光熱水料費	583,284	584,923	1,639
賃借料	42,507,037	50,569,572	8,062,535
会議費	8,178,128	5,261,835	2,916,293
諸謝金	11,171,054	12,653,039	1,481,985
租税公課	4,917,000	4,330,950	586,050
委託費	73,577,995	84,228,877	10,650,882
支払助成金	3,059,606	0	3,059,606
雑費	393,186	1,371,826	978,640
管理費	24,908,533	24,540,678	367,855
給料手当	3,674,387	3,612,558	61,829
法定福利費	551,950	548,616	3,334
退職給付費用	174,062	158,400	15,662
福利厚生費	774,864	684,360	90,504
旅費交通費	7,617,599	6,433,004	1,184,595
通信運搬費	1,978,117	2,175,724	197,607
減価償却費	498,395	743,535	245,140
消耗品費	734,730	842,966	108,236
印刷製本費	1,027,110	1,490,420	463,310
光熱水料費	34,311	34,407	96
賃借料	1,115,106	939,454	175,652
会議費	748,151	1,295,183	547,032
保険料	484,509	488,737	4,228
諸謝金	175,000	375,000	200,000
租税公課	72,695	70,800	1,895
委託費	4,822,536	3,782,153	1,040,383
交際費	119,756	230,895	111,139
雑費	305,255	634,466	329,211
経常費用計	307,711,949	309,998,735	2,286,786
当期経常増減額	25,185,081	14,882,728	10,302,353
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	8,862,551	0	8,862,551
固定資産除売却損	162,877	0	162,877
過年度賞与引当金繰入額	3,943,845	0	3,943,845
過年度退職給付費用	4,755,829	0	4,755,829
当期経常外増減額	8,862,551	0	8,862,551
当期一般正味財産増減額	16,322,530	14,882,728	1,439,802
一般正味財産期首残高	139,337,106	124,454,378	14,882,728
一般正味財産期末残高	155,659,636	139,337,106	16,322,530
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
正味財産期末残高	226,744,449	210,421,919	16,322,530





## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 適用している会計基準

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物付属設備

什器備品

定率法

定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物

什器備品

15年

4年～10年

無形固定資産

ソフトウェア

定額法

#### (3) 引当金の計上基準

賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に対応する額を計上している。

退職給付引当金

職員の退職給付に備える為、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は、期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している。

### 2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,906,000	1,344,797	1,561,203
什器備品	3,791,459	3,054,074	737,385
合計	6,697,459	4,398,871	2,298,588

### 3 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
新潟県コンベンション開催費補助金	新潟県	0	7,000,000	7,000,000	0	
コンベンション開催費補助金	(公財)新潟観光コンベンション協会	0	2,000,000	2,000,000	0	
合計		0	9,000,000	9,000,000	0	

# 財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	振替貯金 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局(9口座) 普通預金 ： 三井住友銀行麹町支店(3口座) 定期預金 ： 三井住友銀行麹町支店 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局		支払資金として使用	152,364,525
			支払資金として使用	44,527,707
				30,058,564
				10,000,000
未収入金	特定健診パンフレット・DVD著作権料			2,224,605
前払金	翌年度事務所賃料 翌年度研修会等会場費 翌年度学術大会前払額			616,086 2,568,661 5,000,000
流動資産合計				247,360,148
(固定資産)				
その他固定資産				
建物	事務所賃貸造作		事務局及び会議室 公益目的事業に87.5%、収益事業等に 6.25%、法人管理に6.25%使用	1,561,203
什器備品	パーソナルコンピューター コピー機 Web会議用備品一式		会員管理・事業管理用	549,222
			会員管理・事業管理用	75,105
			会員管理・事業管理用	113,058
ソフトウェア	公益目的事業管理ソフト		会員管理・事業管理用 (公益目的保有財産)	51,840
固定資産合計				2,350,428
資産合計				249,710,576
(流動負債)				
未払金	経費未払額			1,083,764
未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額			2,752,100
前受金	次年度事業前受金			9,046,000
預り金	源泉所得税、住民税 社会保険料			282,152
				694,055
賞与引当金	職員に対するもの		職員の翌年度賞与支給見込額のうち当期 対応額	4,070,316
流動負債合計				17,928,387
(固定負債)				
退職給付引当金	職員に対するもの		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	5,037,740
固定負債合計				5,037,740
負債合計				22,966,127
正味財産				226,744,449

## 附属明細書

### 1 . 基本財産及び特定資産の明細

該当なし

### 2 . 引当金の明細

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	0	4,070,316	0	0	4,070,316	
退職給付引当金	0	5,037,740	0	0	5,037,740	